

## 研究経過報告（昭和63年8月～平成元年7月）

原 岡 一 馬

この1年間に行った研究活動の概要を述べることにする。

### I. 著書関係

著書の執筆関係については、

- (1) 『組織の中の人間』, 原岡一馬・若林満編著, 1989, 福村出版
- (2) 「社会的態度はどのように形成され変容されるか」1989, 大橋正夫・佐々木薫編『社会心理学を学ぶ』[新版] 有斐閣選書, pp.44-61.
- (3) 『ヒューマンエラー —その発生原因と防止対策—』原岡一馬編著, 1989, アイ・エヌ・ジー出版部, を執筆した。

### II. 教育・心理関係研究論文および雑誌論文

研究論文については、「青少年育成の問題と指導者の意識」名古屋大学教育学部紀要 —教育心理学科— 1988, Vol.35, 29-55. を発表した。

教育・心理関係雑誌論文には、

- (1) 対人関係に見る子どもの好き嫌い —好かれる子・嫌われる子— 「児童心理」, 金子書房, 1988, Vol. 12, No. 10, 29-34.
- (2) 集団の一員の自覚とは何か, 「特別活動研究」, 明治図書, 1989, 1, No.255, 5-9.
- (3) 集団指導と心理学の理論, 現代心理学の理論と教育, 10回, 「指導と評価」日本評価研究会, 1989, No.1, 38-41.
- (4) よい仲間とは何か, 「教育心理」, 日本文化科学社,

1989, No.3, 6-11.

- (5) 主体的人間の育成と体験学習の重視, 「特別活動研究」, 明治図書, 1989, 5, No.260, 12-14.

がある。

### III. その他

学会発表関係では、

- (1) 「態度変容と抵抗 —その方法と問題点—」日本社会心理学会第29回大会シンポジウム司会者
- (2) 「授業と学級の新しい形を探る」日本教育心理学会第31回大会研究委員会企画シンポジウム:企画・司会者
- (3) 「教師の自己成長に関する研究」日本教育心理学会第31回総会研究発表
- (4) 「お金に対する態度の構造」第33回日本社会心理学会公開シンポジウム『お金の心理学』話題提供者の発表を行った。

また、特定研究の一員として、1989年1月に、「自己教育力を考える」というシンポジウムを開き企画・司会者となった。現在、その結果をもとに、これを発展させる研究に取り組んでいる。

この他、現在、青少年教育実践効果のための現場研究として、中都市、農山村の中の特定地区を選定し、地域社会における意識変革のための現場実験を行い、その教育効果を吟味するための過程観察を行っているところである。